

企業倫理 行動規範



Sassine Ghaziからの メッセージ

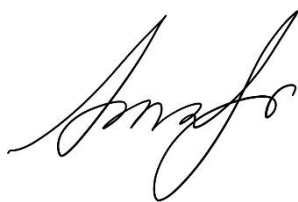
従業員各位

シリコンからシステムまでの設計ソリューションを提供する世界で最も信頼される企業として、Synopsysは、お客様の最も困難な課題の解決をお手伝いすることで世界中のテクノロジーイノベーション企業の能力を引き出す使命を担っています。このような水準のイノベーションの推進と実現には、当社の価値である「俊敏性」「勇氣」「卓越性」「信頼」に対する全従業員の献身的な取り組みが不可欠です。

「信頼」は、当社の事業と企業文化の基盤です。私たちの「誠実さ」と「説明責任」によって築かれるものです。それが、お客様が当社に期待していることであり、私が従業員の皆さんに期待していることです。そして、毎日互いに期待すべきことなのです。

これこそが、企業倫理行動規範を定めている理由です。この規範は単なる規則ではなく、私たちの価値観を実践し、あらゆる状況、あらゆるステークホルダーに対して最善の決断を下すための羅針盤なのです。

私たちがこの行動規範に従い、当社の価値観に沿って率先し、誠実に行動するとき、私たちは明日の創意を刺激する今日のイノベーションに力を注ぐという目的を果たすことができるのです。



Sassine Ghazi
社長兼CEO



目次

第1条 - はじめに | 4

- 1.1 本行動規範と当社の誠実さへのコミットメント | 4
- 1.2 本行動規範は私たち全員に適用される | 4
- 1.3 本行動規範は世界のどこにいても適用される | 5
- 1.4 規範の不遵守の結果 | 5

第2条 - 重要員への期待 | 6

- 2.1 価値観と倫理的行動へのコミットメント | 6
- 2.2 従業員全員の責任 | 7
- 2.3 管理職の責任の強化 | 7
- 2.4 問題提起 | 8
- 2.5 プライバシーと個人情報の尊重 | 10

第3条 - 従業員の誠実さ | 11

- 3.1 多様性、公平性、包摂性を育む | 11
- 3.2 安全な職場環境の促進 | 12
- 3.3 人権擁護 | 12

第4条 - 株主への誠実さ | 13

- 4.1 正確な帳簿と記録の維持 | 13
- 4.2 潜在的な利益相反への対応 | 15
- 4.3 インサイダー取引の禁止 | 16
- 4.4 責任ある出張、接待、贈答 | 17
- 4.5 Synopsysの知的財産、機密情報、企業資産の保護 | 18
- 4.6 正確かつ適切なコミュニケーション | 20

第5条 - お客様、取引先、地域社会との誠実な関係 | 21

- 5.1 誠意をもってお客様に接する | 21
- 5.2 米国連邦契約の遵守 | 21
- 5.3 他社の情報および知的財産の保護 | 22
- 5.4 公正な競争の促進 | 23
- 5.5 贈収賄防止と腐敗防止+の公約の遵守 | 24
- 5.6 信頼できる第三者との協力 | 26
- 5.7 世界貿易規制の遵守 | 27
- 5.8 環境保護と社会的インパクトの促進 | 27

第6条 - グローバルな倫理とコンプライアンスに関する資料 | 28

第7条 - 別表：方針、資料、ガイドライン | 29 (社内のみ表示可能)

第1条 | はじめに

本行動規範と当社の誠実さへの コミットメント

当社の企業倫理行動規範（以下「規範」）は、当社の方針およびすべての適用される法律を遵守し、倫理的に業務を行うための指針です。

Synopsys在職中に直面する可能性のあるすべての意思決定に対応できる文書はありませんが、本行動規範は私たちの指針となります。本行動規範は、Synopsys、従業員同士、そしてお客様、一般市民、政府に対する私たちの責任を取り上げています。また、本行動規範には、私たちが日々正しい判断を下すための資料も含まれています。

本行動規範は私たち全員に適用される

当規範は、Synopsys, Inc.とその関連会社（当規範全体において「Synopsys」または「当社」）および従業員、役員、取締役、インターン、臨時雇用者を含むSynopsysの全従業員に適用されます。参照しやすいように、本行動規範ではこれらの人々を「従業員」または「私たち」や「あなた」などの代名詞で呼びます。私たちは、本行動規範を読み、その文言と精神を理解し、遵守することに同意することを定期的に確認することで、誠実に行動することを約束します。

当社はサプライヤー、チャネルパートナーおよびベンダーに対して本行動規範と当社の方針に準拠して倫理的かつ合法的に働くことを求めます。



写真提供: Synopsys従業員 Mohammed Ghassan

本行動規範は世界のどこにいても適用される

当社は、米国を拠点とする企業であり、世界中に従業員とお客様を抱えており、事業を行う国の法律と、国際的に適用されるすべての米国の法律を遵守しなければなりません。常に誠実で透明性のある取引を行うことで、信頼を築きます。

多様性を受け入れ、文化の違いを尊重しますが、現地の慣習や商習慣が本行動規範に違反する場合、本規範に従わなければなりません。本行動規範と現地の法律や慣習との間に矛盾が生じる可能性がある場合は、速やかに[倫理・コンプライアンス部](#)または法務部の他のメンバーに指示を仰いでください。

規範の不遵守の結果

私たちは、常に常識と適切な判断力を発揮し、非倫理的と見なされるような状況を避けることが期待されています。本行動規範と当社の方針または適用される法律に違反した場合、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があり、取締役の場合は再任されないか、辞任を求められることもあります。同様に、不正行為に関与したサプライヤー、ベンダー、チャネルパートナーはSynopsysとの契約を打ち切られる可能性があります。



行動する前に、以下のことを考慮してください。

- 合法的かつ倫理的か？
- 本行動規範に合致しているか？
- 自分自身やSynopsysにとって良い印象を与えるか？

これらの質問のいずれかの答えが「いいえ」である場合は、別の行動を選択してください。迷う場合は、指導を仰いで下さい。

第2条 | 従業員への期待

価値観と倫理的行動へのコミットメント

Synopsysでは、「俊敏性」「勇気」「卓越性」「信頼」というコアバリューが、この企業倫理行動規範のコミットメントにおけるあらゆる取り組みの指針となっています。

「私たちの文化は私たちが共有するコアバリューを表現しています。価値観とは単なる言葉ではなく、私たちがチーム、お客様、取引先、そして地域社会とどのように関わっていくかの原動力なのです。」

社長兼CEO Sassine Ghazi



俊敏性

俊敏性とは、目標達成のために適応し、新しいことに挑戦し、好奇心を持ち続け、失敗から素早く学ぶことを意味します。変化に対応し、創造性を活かし、リーダーシップを発揮するのに役立ちます。お客様にサービスを提供するために柔軟に動き、方向転換するうえで欠かせません。



勇気

勇気とは、快適な領域から一歩踏み出し、重要なときには発言し、困難なときでも断固とした行動をとることです。現状維持に挑戦し、率直に意見を交わすことで、私たちはチャンスを見出し、共に強くなることができます。私たちはたとえ困難であっても正しいことをします。



卓越性

卓越性とは、単なる目標ではなく、私たちの毎日の実践です。自分自身とチームに高い基準を設定することです。あらゆる業務において期待を上回ること、私たちはお客様に卓越した価値を創造し、お互いに刺激を与えます。



信頼

信頼とは、チームワークの基盤であり、誠実さ、説明責任そして信頼性によって築かれます。同僚、取引先、地域社会と誠実にコミュニケーションをとることで、透明性が促進され、信頼性が育まれます。

従業員全員の責任

私たちは、本行動規範、当社の方針、そして法律に従って行動することが期待されています。本行動規範は、当社が成功するためのガイドブックです。本行動規範を補足する具体的な方針と手続きは、本行動規範にリンクされているほか、当社のイントラネットでもご覧いただけます。私たちには以下のことが求められます。

- 本行動規範、および方針、適用法を読み、理解し、遵守すること
- 行動方針について不明な点がある場合に指導を仰ぐこと
- 本行動規範、当社の方針または適用法の違反の可能性に気づいた場合、問題提起を行うこと
- 内部調査や質問には率直に応じ、全面的に協力すること
- 義務付けられている誠実さに関する研修の受講と認証手続きをすべて速やかに行うこと

当社の価値観を守り、誠実に事業を行うために全従業員を頼りにしています。

管理職の責任の強化

Synopsysの管理者には、誠実に指導する特別な責任があります。Synopsysは管理職に次のことを求めています。

- 本行動規範と当社の価値観の原則を模範とし、定期的に強化すること
- 誠実さをもって行動する文化を推進し、従業員に質問したり懸念を表明したりすることを奨励すること
- 部下が必要な誠実さに関する研修を速やかに受講するようにすること
- 部下の意見に耳を傾け、特に言いにくいことがある場合はその質問や懸念を真摯に受け止めること
- 不正行為の可能性に気づいたら、直ちに問題提起に関する参考資料を利用して対応すること
- 善意で懸念を表明した人または内部調査に参加した人に対する報復を決して行わないこと

[倫理・コンプライアンス部](#)に連絡し、所属部署に倫理的な企業行動の模範および徹底に関する支援を求めてください。



写真提供: Synopsys従業員 Mary Ann White

問題提起

誠実に業務を遂行するというコミットメントの一環として、Synopsysの従業員やSynopsysのサプライヤー、ベンダー、チャネルパートナーが不正行為を行っていると思われる場合は、速やかに問題提起を行うことが求められています。懸念を表明するためにすべての詳細が必要なわけではありません。当社の誠実さへの期待に沿わないものがあるという善意ある信念だけで、懸念を提起する十分な理由になります。あなたにとって最も快適な方法で以下のような方々に懸念を伝えることができます。

- 上司または経営陣の一員
- 所属部署の人事ビジネスパートナー
- 法務部の一員
- 倫理・コンプライアンス部のインテグリティサポート用のメールアドレス:
integrity@synopsys.com
- インテグリティヘルプラインまたは
- 当社の最高倫理・コンプライアンス責任者（カリフォルニア州サニーベール市の本社）に「最高倫理・コンプライアンス責任者」宛ての手紙を送付してください。

当社は、善意で懸念を表明した人または内部調査に参加した人に対する報復を容認しません。いかなる報復も本行動規範の違反であり、解雇につながる可能性があります。





Synopsys インテグリティヘルプラインは、インテグリティ（誠実さ）に関する懸念の提起や倫理に関する質問のための専用窓口です。インテグリティヘルプラインは、Synopsysの従業員だけでなく、世界中のどなたでもご利用いただけます。ヘルプラインでは、24時間365日、電話またはオンラインで情報を送信することができます。現地の法律で許可されている場合は、匿名で

提出することができます。情報提出はすべて、多言語サービスを提供する第三者ベンダーによって管理されます。情報提出が完了すると、Synopsysの倫理・コンプライアンス部にレポートが提供され、迅速な評価と適切なフォローアップが行われます。情報の評価中も、インテグリティヘルプラインのプラットフォームを通じてやり取りを続けることができます。

SYNOPSYS®

Home

Code of Ethics

FAQ



Integrity Helpline

"Our commitment to integrity runs deep at Synopsys. It shapes every facet of our actions, guides our behaviors and decisions, and is essential to our success." - Sassine Ghazi, CEO of Synopsys



Report
Online



Report
by Phone



Follow
Up



Ask a
Question

プライバシーと個人情報の尊重

Synopsysは、プライバシーと個人情報の保護に努めています。Synopsysの従業員、お客様、取引先の個人情報にアクセスする場合、データの収集・使用・開示・転送に関して適用されるすべての方針と法律を遵守する必要があります。さらに、当社が事業を行う国のデータプライバシー法に従う必要があります。プライバシーへの取り組みの一環として、当社は以下のことを行います。

- 正当な業務上の必要性がある場合に限り、個人情報へのアクセスを要求すること
- すべての方針およびプロセスに従い、個人情報を適切に保護すること
- 合法的な業務上の必要性がありかつ権限のある人にアクセスを限定すること
- 業務上不要になったデータを安全な方法で廃棄すること

その他の情報およびガイドンスについては、「[データプライバシーおよび保護に関する声明](#)」を参照するか、メール (privacy@synopsys.com) でお問い合わせください。



コンプライアンスは全員の責任です。本規範を遵守するための個々の行動に責任を持つだけでなく、当社が誠実に業務を行うよう、全員が自らの役割を果たさなければなりません。



写真提供: Synopsys従業員 Ritika Hans

第3条

従業員の誠実さ

多様性、公平性、包摂性を育む

Synopsysでは、あらゆる経歴を持つ優れた人材が評価され、最高の仕事ができるよう支援されていると感じてほしいと考えています。当社の文化は、コアバリューとして信頼を基盤に構築されており、同僚、お客様、取引先に尊厳と敬意をもって接することを求めています。私たち一人ひとりがユニークな才能、能力、視点を発揮してイノベーションを推進できるような、心地よい生産的な職場環境をつくるために、私たち全員が重要な役割を担っています。

当社は、機会均等雇用者です。人種、肌の色、宗教、性別、性自認または性表現、性的指向、配偶者の有無、軍歴、年齢、出身国、国籍、先祖、カースト（社会的地位）、身体的または精神的障害、妊娠状況、病状、遺伝的特徴および法律で保護されているその他の特徴に基づく差別や嫌がらせのない健全で生産的な職場環境を提供することを誇りにしています。また、適用される法律や規制に従って、障害のある候補者や従業員に対して合理的な配慮を行います。



安全な職場環境の促進

安全で健康的、かつ生産的な職場環境を促進することは私たちの共通の責任です。つまり、次のことを意味します。

- 他者を尊重し、嫌がらせ、差別、いじめを容認しないこと
- 友好的に問題を解決し、決して暴力の脅威に訴えないこと
- 職場での武器やその他の危険な器具の使用を禁止すること
- 薬物、規制物質、アルコールによって身体活動や判断力が損なわれた状態で仕事をしないこと
- 安全衛生法を遵守して業務を遂行すること

これらの原則に反する行為は禁止されています。問題となる行為に遭遇した場合は、速やかに上司、人事部または倫理・コンプライアンス部に支援を求める必要があります。

人権の擁護

Synopsysは、国際的に認知された人権と労働者の権利を守ることを約束します。Synopsysは、Responsible Business Alliance（「RBA」）の会員であり、RBA行動規範に沿った事業運営を行っています。また、国際連合の世界人権宣言に反映されている共通の原則も支持しています。当社は、人身売買、強制労働、児童労働のない事業運営を含め、すべての従業員、ベンダー、サプライヤーが倫理的に事業を行うことを期待しています。



写真提供: Synopsys従業員 Mohammed Ghassan

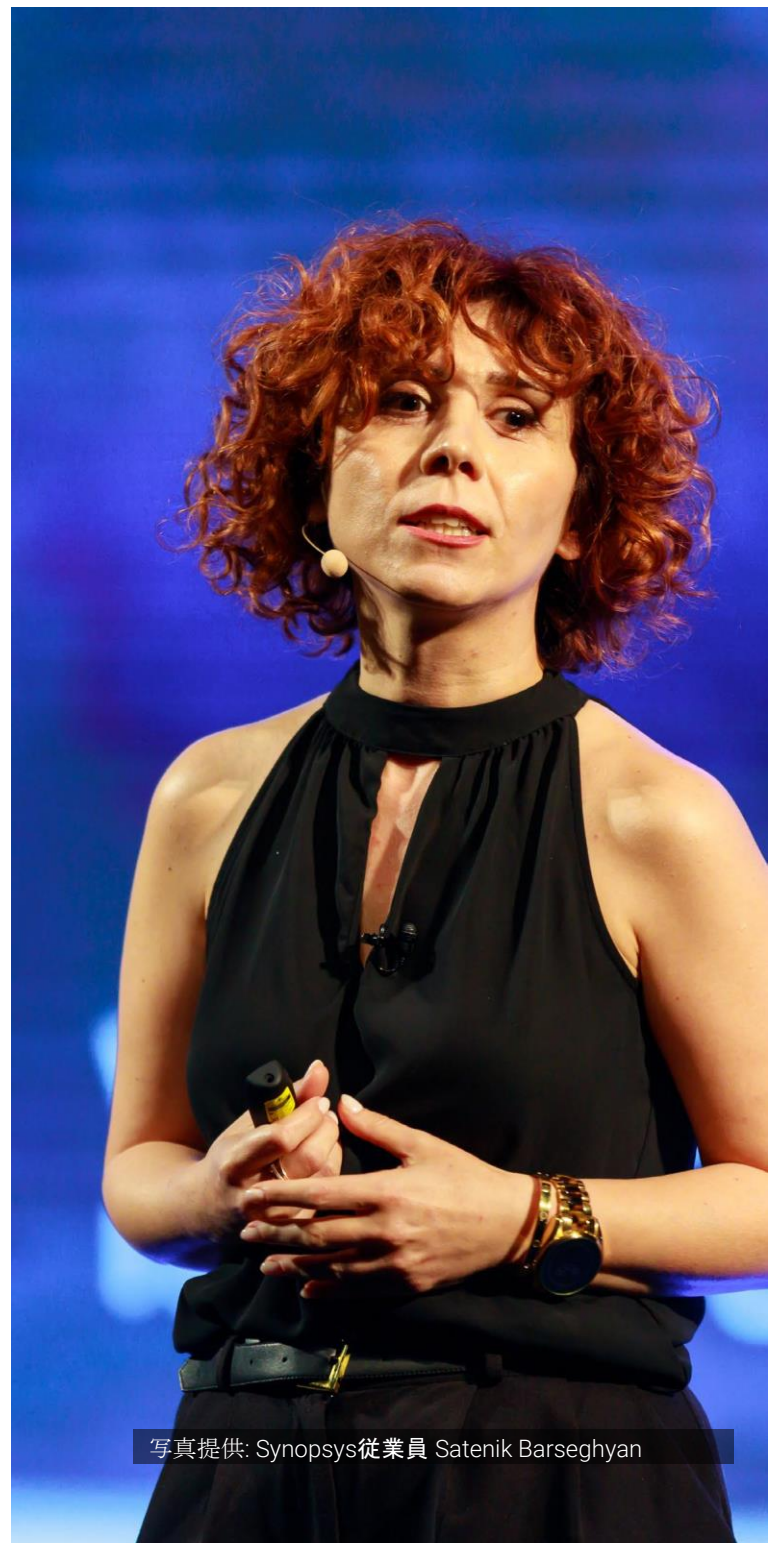
第4条 株主への誠実さ

正確な帳簿と記録の維持

株主に対する誠実さへのコミットメントの一環として、財務記録および事業記録が完全、公正、正確かつタイムリーであることを保証しなければなりません。これは全従業員が共有する責任なので、私たちは以下を実行しなければなりません。

- 業務上の取引および経費の払い戻しを、完全、正確かつタイムリーに、適切な裏付け資料とともに記録すること
- 内部統制を遵守し、財務部、内部監査部、外部監査人、倫理・コンプライアンス部および法務部の他の人員との協力を含め、記帳に対する説明責任を果たすこと
- Synopsysの方針と要件に従い、必要な承認を得て財務取引を実行し、記録すること
- 契約が合意されたすべての条件を完全かつ正確に反映していることを確認すること（サイドアグリーメントは厳禁）
- すべての現金またはその他の資産を適切に記録・管理すること（記録されていない資金または「帳簿外」の資金はいかなる目的にも使用してはなりません）
- 当社の文書保管方針の要件に従い、記録の保管および廃棄を行うこと

帳簿および記録管理の不備、不正確さまたは不正行為の可能性に気付いた場合は、内部監査部、倫理・コンプライアンス部、財務部または[インテグリティヘルプライン](#)に直ちに報告してください。



写真提供: Synopsys従業員 Satenik Barseghyan



米国証券取引委員会（SEC）に提出する報告書や文書、その他の公表資料において、完全かつ正確でタイムリーな財務情報の開示を徹底することは、私たち共通の責任です。

たとえ私たちが財務部に所属してなくても、Synopsisの財務諸表に関する責任はあります。経費報告書の記録など、日常的な行動は財務諸表に影響するため、正確かつ完全でなければなりません。

私たちは、法務部および財務部が把握していないコミットメントを含むサイドアグリーメントや異なる日付で締結されたように見せかける誤った日付の契約、その他の文書を厳しく禁じています。



潜在的な利益相反への対応

私たちは、常に、Synopsysの利益のために行動することが求められています。利益相反（「COI」）は、個人的な関係、活動または金銭的利益が、Synopsysの最善の利益のために行動する能力を妨げる場合に存在します。

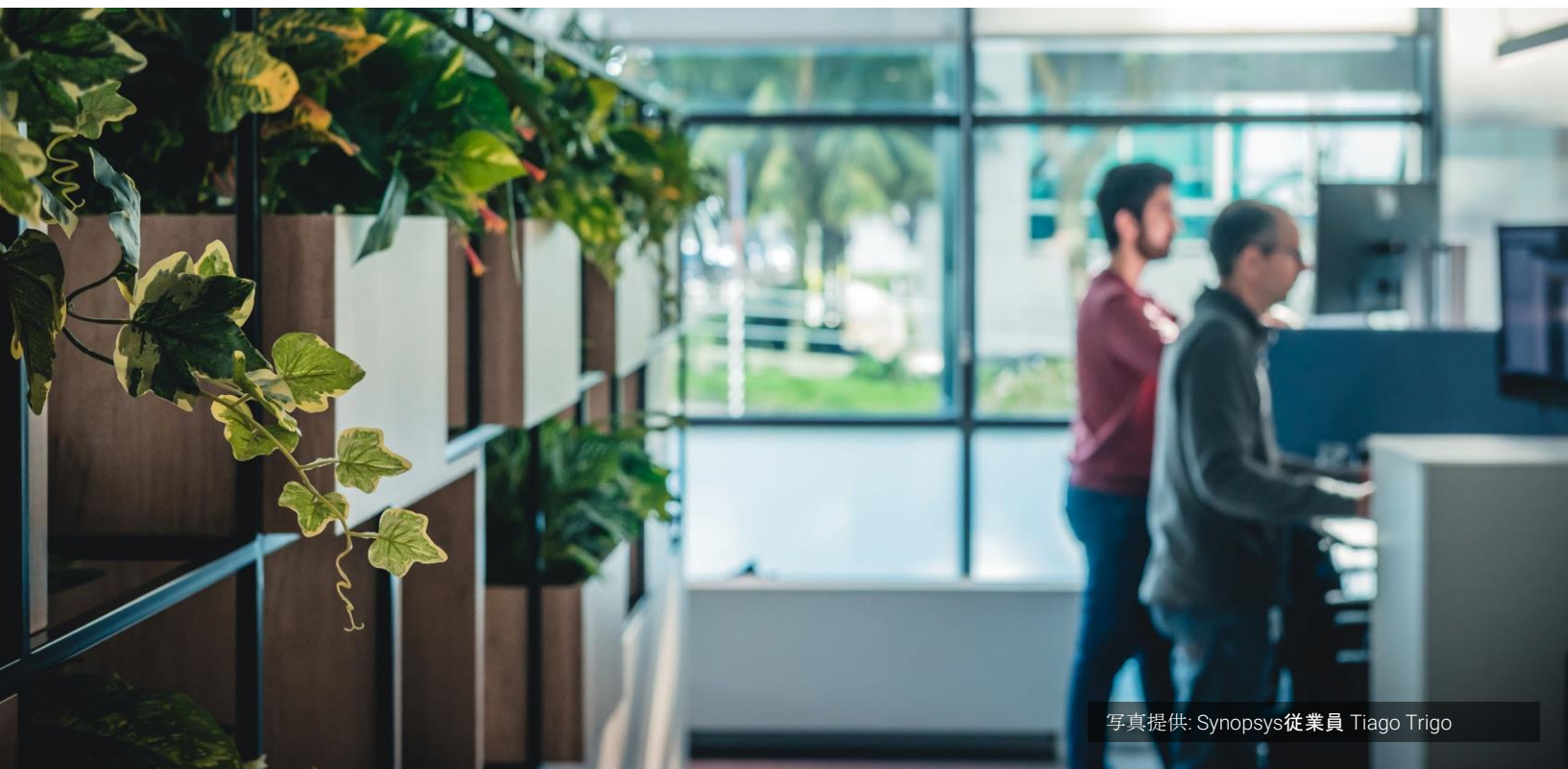
私たちは利益相反申告書に記入することにより、潜在的利益相反をすべて開示して審査を受けなければなりません。

以下の質問のいずれかに「はい」と答えた場合は、利益相反申告書（別表を参照）を提出してください。

- あなた、友人または家族に報酬や利益がありますか？
- Synopsysの最善の利益とは異なる選択をするインセンティブが生じますか？

- あなたの意思決定がSynopsysの最善の利益ではなく、あなたの最善の利益であったかどうかを他者に疑問を抱かせる可能性はありませんか？
- Synopsys、取引先またはお客様と競合する事業、製品、技術またはサービスに関与していますか？
- その活動や関係を秘密としていますか？
- 上記のいずれにも該当しない場合でも、合理的な人であれば利益相反が存在すると思うでしょうか？

従業員は、Synopsysでの職務を通じて発見したビジネスチャンスや金銭的な機会を個人的に利用することはできません。同様に、従業員はSynopsysの財産や情報を個人的な利益のために使用してはなりません。



写真提供: Synopsys従業員 Tiago Trigo

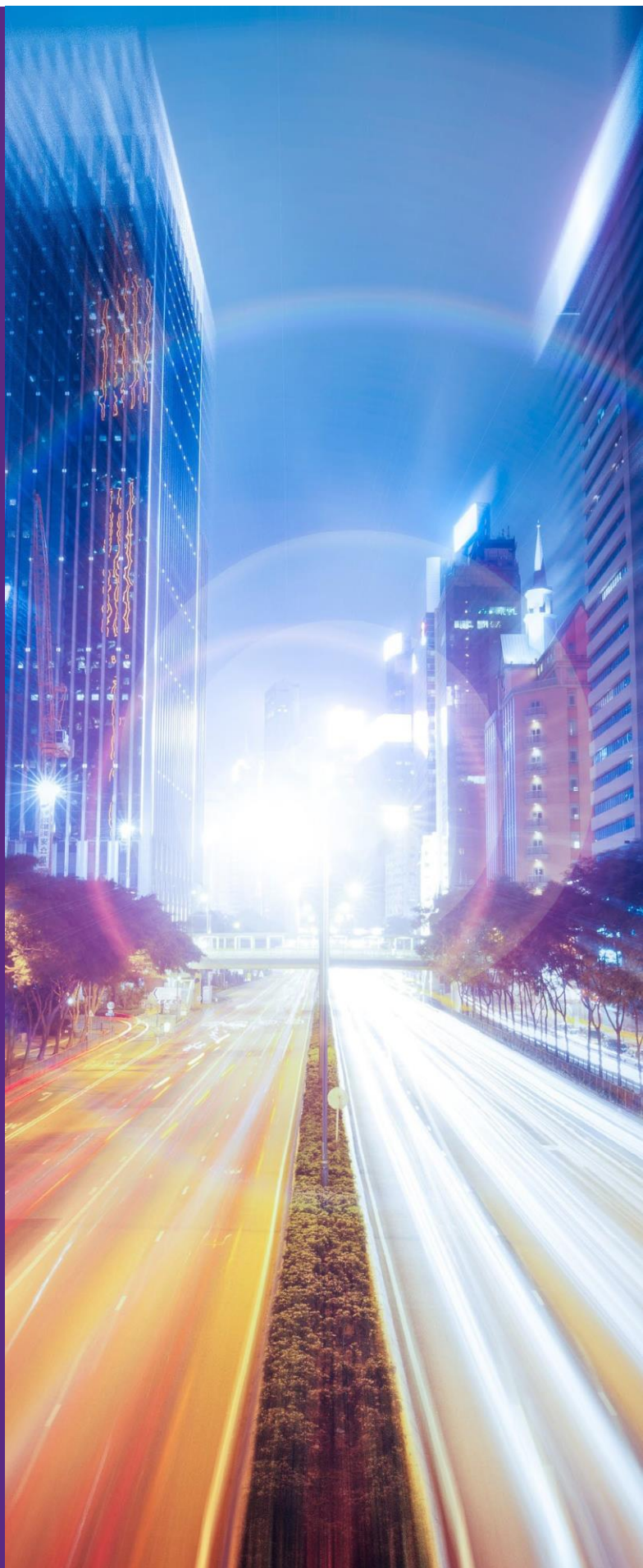
インサイダー取引の禁止

当社は適用されるすべての証券取引法を遵守しており、インサイダー取引を行いません。そのため、重要な未公開情報を保有している場合は、Synopsysまたは他の公開会社の株式を取引しません。また、Synopsysまたは他の公開会社に関する重要な非公開情報を第三者に知らせたり共有したりし、それを基に第三者が取引を行うことができるようにさせたりしてはなりません。情報は以下の場合に重要な未公開情報であると見なされます。

- 十分な期間にわたって広く一般に公開されていない場合
- 合理的な投資家が株式の売買を決定する際に重要視する情報である場合、またはその情報が株式に関する市場における情報全体の構成に影響を及ぼす場合

重要な情報は、Synopsysまたは他の公開会社（該当する場合）によって一般投資家に広く伝えられるまで非公開のままです。

インサイダー取引に関する方針には、空売り、ヘッジまたはスタンディング、指値注文などの特定の取引に関する制限を含む禁止事項に関する追加情報が記載されています。また、インサイダー取引に関する方針には、Synopsysの四半期ごとの取引窓口の概要と特定の人員に対する取引の事前承認要件も記載されています。



責任ある出張、接待、贈答

会社の資金を、当社の方針と世界各国の法律に従って賢く使用することは私たちの共通の責任です。Synopsysは合理的かつ適切な出張費と接待費を従業員に支給します。従業員は、関連するすべての旅費精算に関する方針に従い、生産性、快適性、安全性を維持しながら経費を最小限に抑えるように常に努力しなければなりません。

販売促進費（贈答品、食事、接待、出張などに伴う費用）は、協力的な職場関係を築き、当社製品を販売促進するための積極的な方法となり得ます。合法的な事業目的の販売促進費でなければなりません。腐敗防止方針に記載されているように、販売促進費は現金ではなく、適度かつ妥当なものでなければならず、状況によっては、上司および倫理・コンプライアンス部の事前承認が必要です。私たちは適切な判断を下し、指導を仰ぎ、当社の方針と手続きの要件を熟知していなければなりません。

すべての業務記録と同様に、贈答品・出張・

接待の費用を完全かつ正確に記録し、報告する責任があります。

お客様、同僚、株主、そして世間は私たちの行動に注目しています。仕事関連の環境、出張中、Synopsysのイベントでは、礼儀正しい場所を選び、責任をもって行動する必要があります。

贈るときに心を配ることに加えて、受け取るときにも心を配らなければなりません。サプライヤー、ベンダー、チャネルパートナー、またはお客様から、贈答品、食事、接待、またはその他の利益を要求することはできません。そのような利益について未承諾の申し出を受けた場合、Synopsysの経営判断に影響を与えない、または影響を与えないと思われる場合に限り、受け入れることができます。



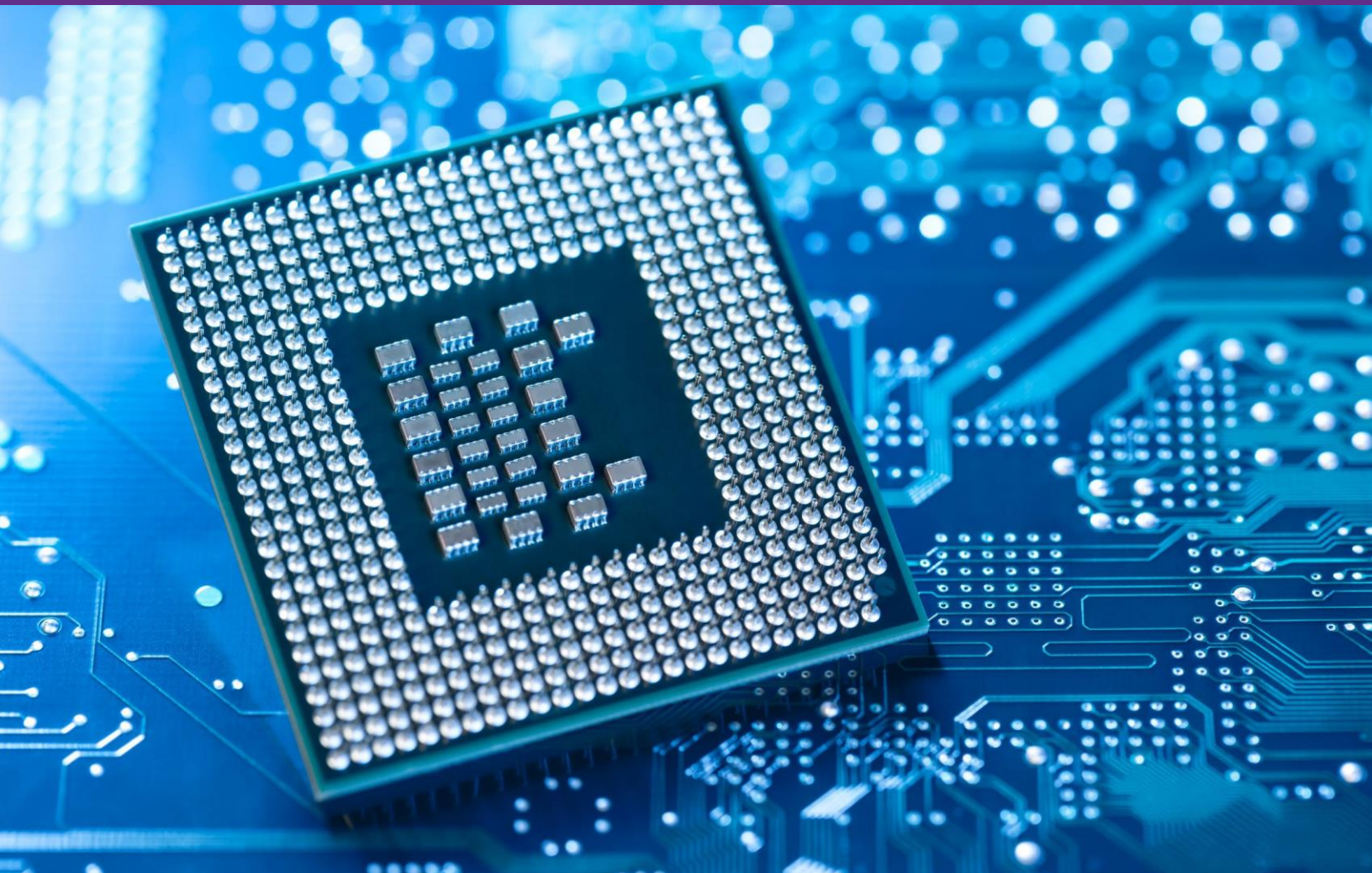
写真提供: Synopsys従業員 Tom Borgstrom

Synopsysの知的財産、機密情報、企業資産の保護

職務を遂行するために、私たちは物理的資産（施設や設備）や無形資産（Synopsysやその取引先、お客様の機密情報など）を含む幅広い企業リソースへのアクセスを与えられています。私たち全員が、これらの貴重な資産を守り、適切に使用する責任を負っています。

情報はSynopsysにとって最も貴重な資産の1つであり、その保護は私たちの最大の責任の1つです。そのため、情報資産のセキュリティを不正使用や不正開示から保護することは私たちの責任です。

証明となる方針、資料、ガイドラインについては、別表を参照してください。



当社の財産および取引先やお客様から当社に託された財産を以下の方法で保護します。



- 損害、損失、誤用、不正な開示およびセキュリティ上の脅威から企業資産を保護すること
- 機密情報は許可された場合にのみ使用し、許可されていない人物とは共有しないこと
- Synopsysとの取引関係が終了した後も、機密情報を保護するというコミットメントを守ること
- 承認された手段でのみ情報資産の保存・転送を行うこと（個人用ストレージデバイス、電子メール、クラウドベースのアカウントを使用しないこと）
- 企業資源が主に業務目的で利用されるようにすること
- Synopsysを代表して契約に署名しコミットメントを行う権限に関して確立された方針と手続きに従うこと

「機密情報」には、アルゴリズム、インターフェイス、製品アーキテクチャ、ソースコード、オブジェクトコード、ビジネスロードマップ、財務情報、顧客リスト、価格戦略、マーケティング計画、組織図、個人情報など、所有者が一般への公開を許可していない情報が含まれます。機密情報には、Synopsysの情報だけでなく、取引先やお客様から委託された情報も含まれます。

正確かつ適切なコミュニケーション

株式公開会社として、誠実で正確かつ理解しやすい情報を提供しなければなりません。Synopsysを代表して発言する権限を持つのは、指定された個人と部署のみです。Synopsysの正式な許可を得ずに、Synopsysを代表して発言しているような印象を与えることは避けなければなりません。投資家や金融アナリストとの対話に関する質問はIR部、報道関係者（出版会社、テレビ局、その他のメディア）に関する質問は広報部にお問い合わせください。

政府・規制機関からの情報提供要請や問い合わせは、すべて法務部に照会してください。

公式な立場での発言でなくても、常に当社の価値観を反映するような情報伝達を行う必要があります。自分の発言（ソーシャルメディア上のコメントなど）が当社の評判に影響を与える可能性があることに留意してください。公的な問題についての発言、または公的な場で発言する場合は、Synopsysを代表して発言または行動しているように見えないように注意してください。



必ずSynopsysの価値観を示し、Synopsysの目的を促進し、Synopsysの評判とブランドを高めるような情報伝達を行ってください。競合他社、お客様、サプライヤー、Synopsysまたは他の従業員を決して中傷してはなりません。機密情報は慎重に扱ってください。



写真提供: Synopsys従業員 Satenik Barseghyan

第5条

お客様、取引先、地域社会との
誠実な関係

誠意をもってお客様に接する

市場における誠実さとは、私たち一人ひとりがすべての適用法を遵守してお客様を倫理的かつ公正に扱うことを意味します。お客様と直接または間接的（第三者を介して）に接する際、私たちは常に次のことを行います。

- 当社の優れた製品、顧客サービスおよび競争力のある価格により、お客様を引きつけること
- 当社の製品、サービス、販売プログラムを明確に誠意をもって伝えること
- お客様との契約が合意されたすべての条件を完全かつ正確に反映していることを確認すること（サイドアグリーメントは厳禁）
- Synopsysが承認したサードパーティ（代理店、チャネルパートナー、コンサルタント、下請業者など）のみを使用すること
- 提出、証明、表明の際には、正確かつ完全な情報を提供すること

プロジェクトや競合他社の入札に関する機密情報に不正にアクセスしようとしてはなりません。

米国連邦契約の遵守

Synopsysは、米国政府と取引を行っており、適用されるすべての公共部門の法律と規制を精神と行動において遵守しています。米国政府の顧客にサービスを提供する場合、この業務に関連する固有の法的要件と制限を遵守することが求められます。

特定の入札や契約で何が要求されるのかを確実に把握するため、または米国政府職員や米国政府の請負会社に販売促進費用を提供する前に、govcon@synopsys.comにお問い合わせください。



他社の情報および知的財産の保護

当社のお客様の多くはテクノロジー業界のリーダーです。そのため、当社のお客様は、当社が可能な限り最高の製品とサービスを提供できるよう、ご自身の機密情報を当社と共有することがよくあります。さらに、当社は、お客様に最高のサービスを提供するために、多くの第三者と提携します。当社の取引先は、当社に絶大な信頼を寄せているだけでなく、共有情報を保護する当社の能力を信頼しています。

取引先やお客様の機密情報を、自社の情報保護と同様の注意を払って

保護します。Synopsysは、競合他社、サプライヤー、ベンダー、以前の雇用主を含め、他者から知り得た社外の機密情報を求めることはありません。他者の知的財産を不適切に使用した場合、Synopsysと従業員が刑事責任や民事責任を問われる可能性があります。従業員全員には、オープンソースソフトウェアや独自開発ソフトウェア、著作権で保護された素材、第三者のコンポーネントの使用に関する当社の方針を熟知していることが求められます。

機密情報、オープンソース、サードパーティ製ソフトウェアの適切な取り扱いに関する方針およびその他の文書については別表を参照してください。

質問： 従業員に、以前の雇用主の市場戦略、製品ロードマップ、技術的能力などの機密情報を尋ねてもよいですか？

回答： いいえ。現在も有効な、以前の雇用主に対する法律上の守秘義務に違反するよう求めることは決して適切ではありません。また、Synopsysを退職する従業員は、今後の職務においても当社の機密を保持することが求められます。

公正な競争の促進

当社はビジネスのため激しく競争しますが、名誉をもって公正かつ誠実に競争します。競争法は、企業や個人が違法な合意やその他の不当な競争制限によって自由市場を妨害することを禁じています。法律に違反すると、Synopsysも個人も多額の法的処罰を受ける危険性があります。世界各地の競争法に従うため、Synopsysは以下のことを決して行いません。

- 競合他社と価格を固定したり、市場戦略を一致させたりすること
- 競合他社と市場や顧客の分割または割り当てを行うこと

- 入札の不正操作や結果の固定化によって競争入札制度を軽視すること
- チャンネルパートナーが顧客に請求する最終価格を決定すること
- 非倫理的な手段を用いて市場情報を収集すること

追加のガイダンスは、独占禁止法および競争法遵守ガイドラインおよび方針を参照してください。違反が疑われる場合は、懸念を報告してください。



贈収賄防止と腐敗防止の公約の遵守

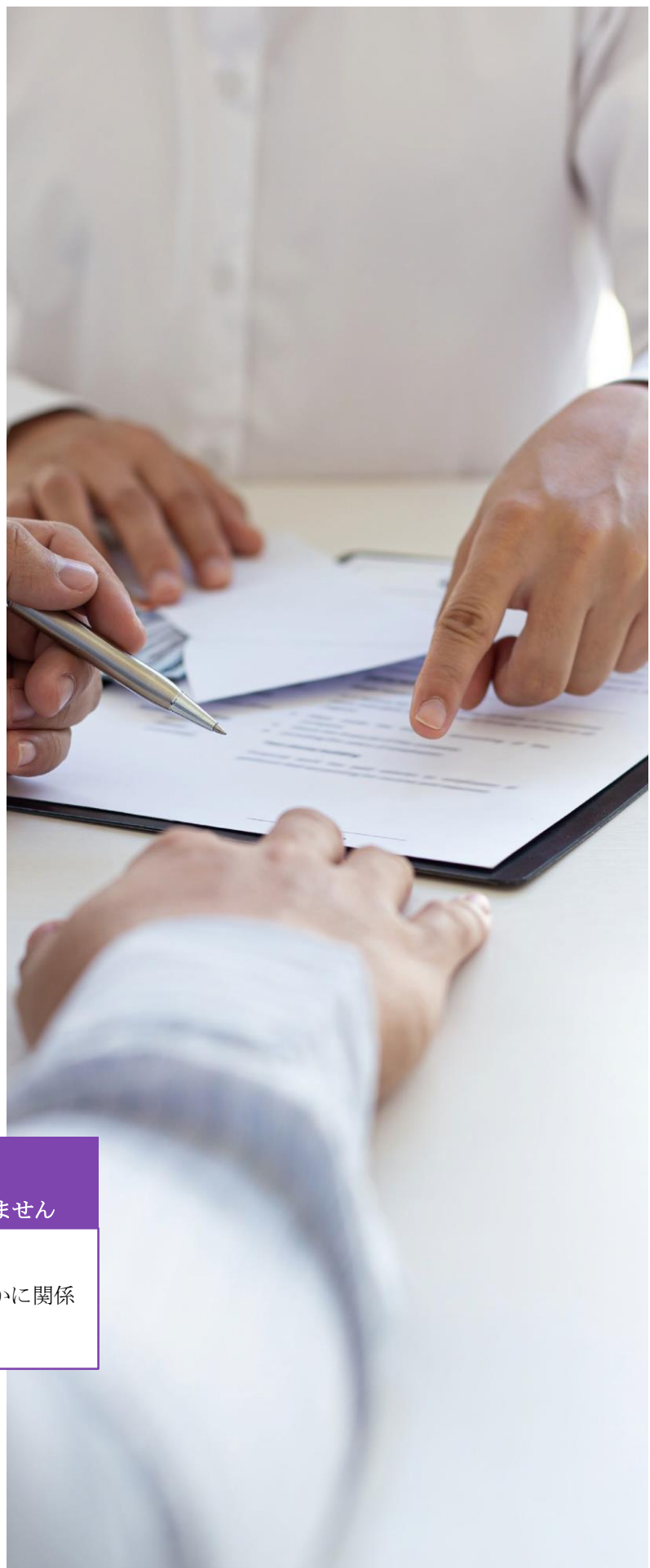
私たちは誠実に行動し、卓越した製品とサービスを提供することで商取引を獲得します。不適切な手段でビジネスチャンスを得るくらいなら、むしろビジネスチャンスを失った方が良いです。例外はありません。本行動規範と世界各国の腐敗防止法は、以下のいずれかを目的として直接的または間接的に価値のあるものを申し出たり、許可したり、提供したりすることを禁じています。

- 商取引の獲得または維持すること
- いかなる人物に対しても商機をもたらすこと
- 不適切な利益または商業的利益を得ること
- 公的行為において政府職員に影響を与えること

Synopsysは、当社を代表して行動する第三者の行為について責任を問われる可能性があります。そのため、第三者が世界各国の腐敗防止法を遵守するようにすることは私たちの共通の責任です。また、第三者の行為や当社の行為に懸念がある場合は、速やかに問題提起を行うことが求められます。

質問：経費精算せずに自費で支払う場合、顧客にプレゼントを贈っても問題ありません

回答：いいえ。贈答品が払い戻されるかどうかに関係なく、同じ制限が適用されます。



当社の腐敗防止方針には、追加の要件が以下のように詳細に記載されています。

- 誰に対しても賄賂やキックバックを申し出たり、支払ったりしません。
- 第三者（チャネルパートナー、サプライヤー、ベンダー、コンサルタントなど）が誰に対しても賄賂やキックバックを提供したり、支払ったりすることを禁じます。
- 贈答品や接待は、合法的な事業目的に直接結びついた節度のあるものでなければならず、倫理・コンプライアンス部による事前承認が必要な場合もあります。詳しくは別表を参照してください。
- 現金または現金同等物を申し出たり、提供したりしてはなりません。
- 非常に限定された状況において倫理・コンプライアンス部の事前承認を得た場合を除き、政府職員の旅費を負担しません。
- 不適切なビジネス上の利益と引き換えに、寄付、後援、政治献金を行いません。
- 私たちは実力に基づいて雇用を決定し、決して政府要員や顧客の利益になるようなことはしません。

潜在的な行動方針が、当社の方針および適用法の下で許容されるかどうか不明な場合は、ethics.compliance@synopsys.comを参照し、ガイダンスを得てから行動してください。

さらに、米国政府職員または米国政府請負業者と関わる場合、適用される特定の規則と制限があります。米国政府との交流に関する詳しいガイダンスやサポートについては、govcon@synopsys.comにお問い合わせください。





信頼できる第三者との協力

Synopsysは、チャネルパートナー、ベンダー、サプライヤーなどの第三者と協業し、事業目標を達成しています。このような提携関係は当社のビジネスモデルの重要な側面ですが、当社の代理として行動する第三者の行為に対してSynopsysが法的責任を問われる可能性があることを念頭に置く必要があります。そのため、Synopsysは誠実に行動する実績のある第三者を利用しています。

第三者が誠実にビジネスを行うことで当社の価値観を確実に守るようにすることは、私たちの共通の責任です。誠実な提携関係を進めるというコミットメントを守るために、以下のことを実行しなければなりません。

- 正当な業務上の理由がある場合にのみ、第三者と関わること
- 調達規則および手続きを遵守すること
- 第三者との契約に先立ち、必要なプライバシー、情報セキュリティ、コンプライアンスとデューデリジェンスの各プロセスを完了すること
- 法律、本行動規範または当社の方針で許容されないことを第三者に許可したり提案したりしないこと
- チャネルパートナーが取引先行動規範を遵守し、サプライヤーがサプライヤー行動規範を遵守して行動するようにすること
- 第三者が腐敗行為または非倫理的行為に関与している可能性がある場合には、直ちに懸念を報告すること。

倫理的な取引先を選ぶことは私たちの共通の責任です。非倫理的な取引先は、当社の評判を損ない、Synopsysと個人を法的責任や刑事責任にさらす可能性があります。Synopsysの従業員が禁止されている行為に従事するために第三者を決して利用しないでください。



世界貿易規制の遵守

輸出管理およびその他の国際貿易規制により、特定の団体、個人、国への当社製品および技術の移転が制限または禁止される場合があります。米国の輸出法および規制は、世界中の当社のすべての拠点および従業員に適用されます。また、適用されるすべての現地の輸出法および関税法を確実に遵守しなければなりません。

製品の使用方法が販売制限の引き金になることもあります。軍用途向けに特別に設計または開発された製品は、販売、アクセス、通信、保管、記録管理に関する厳格なガイドラインに従わなければなりません。

世界各国の貿易規制を確実に遵守するため、Synopsysは、詳細な世界中の方針を含む包括的な輸出入コンプライアンス管理プログラムを維持しています。支援が必要な場合には、trade@synopsys.comにご相談ください。

環境保護と社会的インパクトの促進

Synopsysは、持続可能な事業運営に取り組んでいます。当社の[環境方針](#)は、適用される環境法および規制を遵守することを、世界中の事業活動におけるパフォーマンスの最低基準として定めています。事業が環境に与える影響の低減に積極的に取り組み、業界全体でより持続可能な慣行を推進するためにその能力を活用しています。

事業を展開する地域社会の支援に努めており、また「[Synopsys for Good](#)」プログラムを通じてSynopsys認定の活動に参加することを全従業員に奨励しています。



写真提供: Synopsys従業員 Gayane Markosyan

第6条

グローバルな倫理とコンプライアンスに関する資料

方針およびガイドライン

企業倫理行動規範は当社の期待の基盤となるものです。Synopsisは、本行動規範に記載されている事項に関するさらなるガイダンスを提供し、本行動規範の対象とならない行為に対処する追加の方針とガイドラインを策定しています。方針は、Synopsisのイントラネットでご覧いただけます。

承認、修正、免除

本行動規範は、最高倫理・コンプライアンス責任者が提示し、Synopsisの取締役会が承認したものです。本行動規範の実質的な修正は、取締役会の承認を得る必要があります。執行役員または取締役会の一員に対する当社の行動規範の条項の適用免除の要請は、最高倫理・コンプライアンス責任者に提出し、当社取締役会の書面による承認を得なければなりません。

倫理・コンプライアンス部

倫理・コンプライアンス部は、本行動規範やSynopsisのコンプライアンス方針に関する質問にお答えしたり、不正行為の可能性に関する懸念について相談したりすることができます。倫理・コンプライアンス部に問い合わせる場合：

- メール：ethics.compliance@synopsys.com
- ご質問または懸念は、[インテグリティヘルプライン](#)に提出してください。
- 郵便：Synopsis Chief Ethics & Compliance Officer (c/o Legal Department)
675 Almanor Ave, Sunnyvale, CA 94085 (Building 6)
- E&Cイントラネットサイトをご覧ください。





企業倫理行動規範